



11月19日に令和6年度議会報告会「市議会議員と話そう」での意見に基づく提言書を市長に提出

本年9月に開催した議会報告会「市議会議員と話そう」において、袋井商業高等学校と袋井特別支援学校の生徒の皆さんが、袋井市で生活または市内の学校に通学をしている中で、日頃感じていることを意見交換でお聞きし、どうしたらよりよいまちになるかを考えていただき、その若者の考えを今後の市政に生かすために、広報広聴委員会としてまとめた提言書を提出しました。

【提言書の主な内容】

- ・地域の文化の継承 ・通学路の環境整備
- ・誰もが歩きやすい道路環境の整備



12月23日に「フッピートーク2024」での意見に基づく提言書を市長に提出

本年11月に開催した「フッピートーク2024～市議会議員と袋井市の未来を語ろう～」において、参加者の皆さんがグループごとに設定したテーマについて話し合っていたいただき、その解決方法として出された意見を基に広報広聴委員会としてまとめた提言書を提出しました。

【提言書の主な内容】

- ・外国人の自治会加入、参加促進について
- ・防災への理解を深める取組について
- ・言葉の壁への取組について
- ・スポーツ観戦と観光イベントとの連携について
- ・地域の資源を生かした取組について
- ・スポーツと関連づけた事業発掘とPRの取組について



12月3日に議会活性化特別委員会調査研究結果報告書を議長に提出

議会活性化特別委員会における調査・研究では、議員定数の在り方及び予算・決算常任(特別)委員会の設置について

- ・議員定数は現状維持の20人が「適当」である。
- ・予算決算常任委員会の設置が「適当」である。

それぞれ上記の結論に至りましたが、令和7年4月の改選後の次期議員には、新たに設けられる予算決算常任委員会により、さらに質の高い議案審査による行政の監視機能を、十分に発揮いただけるよう期待するとともに、一定期間運用したのちには、その効果や運用状況などについて、再度、検証し改善していくことが必要であります。また、議員定数については、今回、現状維持の20人となりましたが、今後においても、人口の推移や市民意識の変化などを注視しつつ、袋井市議会として適正な定員数を、定期的に検証していくことが望ましいと考えます。



コラム column

広報広聴委員会は一步前進しました

広報広聴委員会が発足して2年目が過ぎようとしています。主な議題であった「フッピートーク2024～市議会議員と袋井市の未来を語ろう～」が皆さまのご支援ご協力のおかげで開催できました。

そしてその時出ました意見をまとめ、「ふれあい夢市場」にて“いいね”と思う意見にシールを貼っていただき共感できる意見を参考に【提言書】としてまとめ市長に提出することができました。

(広報広聴委員:山田貴子)

皆さまのおかげです。
ありがとうございました。



©袋井市

2月市議会 定例会のお知らせ

【場所】	市役所 5 階議場及び各委員会室
【時間】	午前 9 時から
【日程】	2 月 17 日 (月) 開会、議案の説明
	26 日 (水) 市政に対する一般質問
	27 日 (木) 市政に対する一般質問
	28 日 (金) 市政に対する一般質問
	3 月 3 日 (月) 議案の審査 (常任委員会)
	4 日 (火) 議案の審査 (常任委員会)
	5 日 (水) 議案の審査 (常任委員会)
	21 日 (金) 委員長報告～採決、閉会

*変更となる場合もあります